

新潟県道路メンテナンス会議を設立

会議の概要

1. 目的

道路施設の点検や補修・更新等について、全ての道路管理者が相互に連絡・調整を行い、関連情報の共有により、その実態を把握したうえで、国民の理解を得ながら、協力して道路施設の老朽化対策の強化を図ることを目的とする。

2. メンバー

- ・県内の国、県、市町村、高速道路会社の道路管理関係者で構成。
- ・会長は新潟国道事務所長、副会長は新潟県土木部道路管理課長、新潟市土木部土木総務課長、東日本高速道路株式会社新潟支社新潟管理事務所長。
- 構成員は市町村の担当部長クラス。

3. 主な取り組み

- ① 研修・基準類の説明会等の調整
- ② 点検・修繕を進める仕組みに関する調整（跨線橋点検時の関係機関との協議に関する支援等）
- ③ 点検・措置状況の集約、評価、公表
- ④ 点検業務の発注支援（地域一括発注等）
- ⑤ 技術的な相談対応
- ⑥ 道路の老朽化対策に関する理解促進 等

設立会議開催状況

「第1回 新潟県道路メンテナンス会議」

- ・日 時：平成26年6月11日（水） 14:00～15:30
- ・場 所：新潟県自治会館 講堂
- ・出席者：県内の国、県、市町村、高速道路会社の道路管理関係者全員出席
- ・議 事：①設立趣意書及び規約の承認、②情報提供、③今後の進め方、④意見交換

県内全ての道路管理者が一堂に会し、老朽化対策への今後の連携・協力強化を確認



挨拶 新潟国道事務所長



会議の状況

【意見交換での主な意見】

- ・市町村は多くの橋梁を管理しているため、その全てを5年に1回点検することは予算確保が懸念される。
- ・点検の結果、健全度判定が良くない重要な橋梁は、国から積極的な予算措置をお願いしたい。
- ・市町村、特に町村は、点検の技術を有する職員が少ないため、講習会や研修を充実して欲しい。
- ・行政改革により人手が大幅に削減されているため、年配職員から若手職員への技術伝承が課題。
- ・予算不足に加え技術者不足のため、今後専門家による詳しい点検が十分に行えるのか不安。 等